

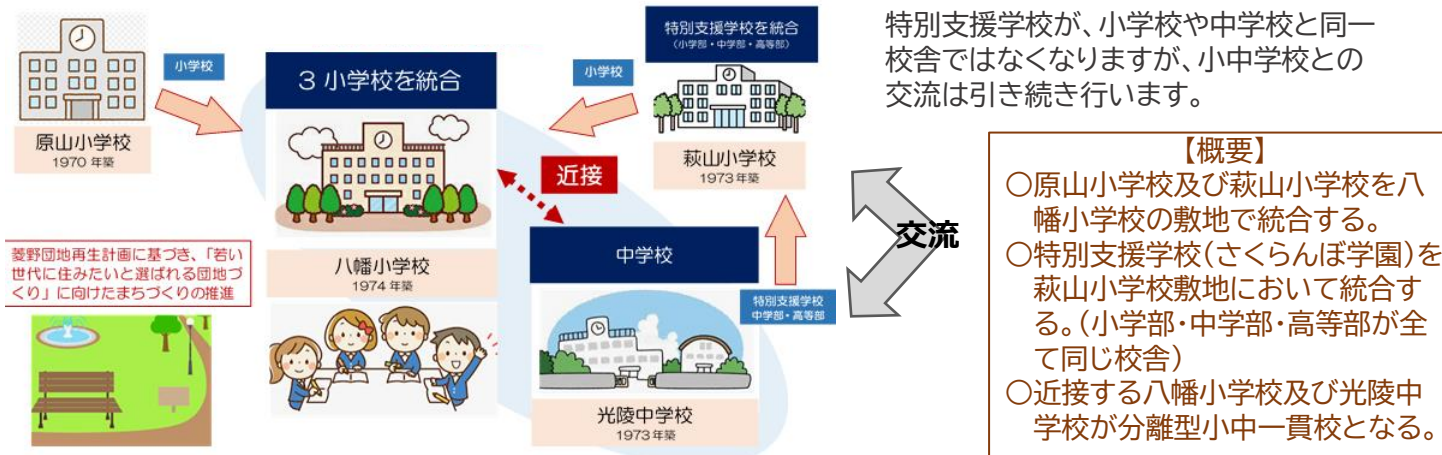
■菱野団地における学校再編の取組状況について

瀬戸市 教育部(令和7年4月)

これまでの経緯や主な取組内容

■菱野団地における学校再編計画を作成【令和4年7月】

令和3年11月に、児童数の減少などを主な背景とし、菱野団地の公立学校の再編計画(案)を公表しました。以降、保護者や地域の皆さまに対する説明会や懇談会を実施し、保護者の意見などを踏まえ、再編計画を作成しました。なお、再編計画は、第6次瀬戸市総合計画をはじめ、菱野団地再生計画などとの整合を図るとともに、児童生徒数の推移も注視しながら進めていきます。



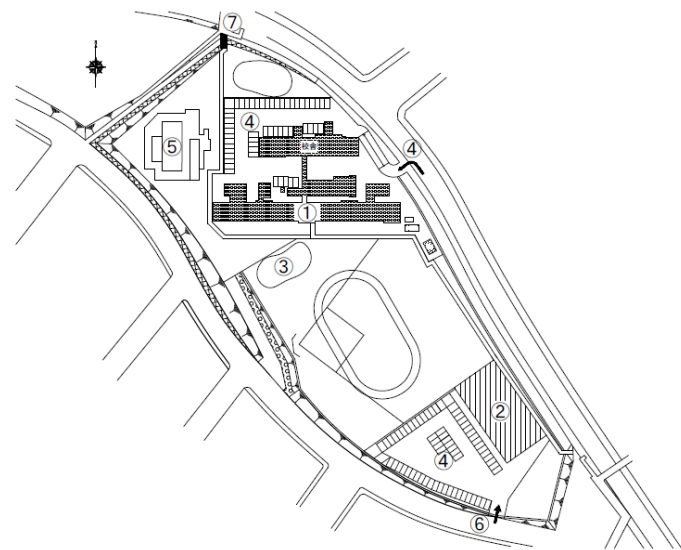
■学校の基本コンセプトを作成【令和5年3月】

児童生徒のアンケート結果を取りまとめて、学校の基本コンセプトを定めました。

子ども一人ひとりの多様な幸せ(Well-being)を中心に、
誰一人取り残されない、多様な学び合いの創造
～地域とともに歩む“未来志向”の学び舎～



■小学校校舎の長寿命化改良・増築工事【令和6年7月～令和8年2月予定】



【主な整備内容(予定)】

- ① 校舎の長寿命化改良工事の実施(エレベーター設置)
※R8.4～供用開始
- ② 体育館の新設(空調設備・地域防災拠点・地域開放)
※R9.10～供用開始(R8 年度整備)
- ③ 複合遊具の設置
※R9.4～供用開始(R8 年度整備)
- ④ 外構整備(駐車場:約120台・東側車両出入口)
※R9.4～供用開始(R8 年度整備)
- ⑤ 既設プールの活用
※校地内の既設プールを活用
- ⑥ 体育館周辺の車両出入口の整備
※R9.10～供用開始(R8・9 年度整備)
- ⑦ 北側登校用出入口の整備(新規)

■新小学校の校名「みつば小学校」を選定【令和6年9月】

小中学校の児童生徒などから応募いただいた537点の候補の中から「みつば小学校」を選定しました。みつば小学校と近接する光陵中学校については、施設分離型小中一貫校として、施設分離型小中一貫校における教育モデルとして取り組みを進めていきます。

【菱野団地の学校再編に関する情報は、瀬戸市 HP で随時、更新しています】

学校再編に関するお問い合わせ:瀬戸市役所 教育部 教育政策課

TEL:0561-88-2750

E-Mail:kyoikuseisaku@city.seto.lg.jp



取組の現状と今後の予定

みつば小学校

*令和8年4月開校



■通学路

○令和6年7・8月に、教育委員会、学校、PTA、地域住民、道路管理者及び警察とともに通学路の点検を実施しました。
○点検結果を踏まえて、校地北側の登校用の出入口、新郷地区からの通学用の新たな階段や横断歩道の設置など、通学路の安全確保を目指していきます。

■校章・校歌

○令和6年10月に、原山、萩山、八幡小学校、光陵中学校及び瀬戸特別支援学校の児童生徒から校章のデザインを募集し、246件の応募をいただきました。
○応募いただいたデザインやデザインに込められた意味、学校の基本コンセプトなどを取り入れて、4月に校章と校歌を決定しました。

■教育課程【独自教科「みらい」】

○郷土愛が深く、多様性を尊重し、周囲の人々と力を合わせ、主体的に考え、行動することができる児童生徒を育成するために、みつば小学校や光陵中学校において特別な教育課程を編成し、独自教科「みらい」を実施します。
○地域に根差した探究的な学習等を通して、学び方やものの考え方を身につけ、夢や希望、将来への展望をもち、社会でたくましく生き抜くことができる児童生徒を目指します。
○瀬戸特別支援学校との交流、合同での授業・行事、菱野団地周辺・瀬戸市・愛知県の歴史や文化の調査活動、職業調べや職業体験、市の未来像の設計や提言などの探究活動を教育課程に位置付け、教科化することで時間数を確保し、継続的に取り組むことができるようにします。
○令和7年度に、文部科学省へ指定の申請を行っていきます。

瀬戸特別支援学校(さくらんぼ学園)

■概要(予定)

○肢体不自由児(者)のための瀬戸市立の特別支援学校で、現在、60名の子どもたちが通学しています(令和6年度)。
○小学部から高等部まで一貫教育を行っています。現在は小学部(萩山校舎)、中学部及び高等部(光陵校舎)と分離しています。
○令和10年度には、小学部・中学部・高等部が一体となり、現・萩山小学校地で新たなスタートを切ることを目指し、校舎の長寿命化改良工事などの取組を進めています。
○これまで同様、みつば小学校や光陵中学校との交流及び共同学習を実践し、ノーマライゼーションの理念の実現を目指します。

■工事期間中の対応

○校舎の長寿命化改良工事期間中(令和8から10年度まで)については、保護者の方から、児童の体調を考えると騒音が心配であるとの意見をいただいたことから、現在の原山小学校を仮設校舎として、学校活動を行っていくことも検討しています。

■より良い学校づくりに向けて

○保護者とともに、他市町にある県立特別支援学校を視察するなどし、より良い学校づくりに向けた取組を進めています。
○令和7年度には、校舎の設計業務を進めるとともに、福祉施設や子育て支援施設など民間施設の併設に係る可能性などを調査していく予定で、併せて、防災拠点としてのあり方なども検討していきたいと考えています。
○個々の教育的ニーズに応じた教育を実践することにより、共生の意識と自己肯定感の伸張を図り、児童生徒一人ひとりが主体的に社会参加を目指す資質の育成を教育目標としています。

光陵中学校

■探究時間の充実

令和8年4月の施設分離型小中一貫校の開校に向けて、キャリア教育における探究時間の充実を目指します。
・通年の登校時間の繰り上げを実施します。(8時15分～8時25分/現在 ⇒ 8時00分～8時10分/令和7年4月～)
・行事等(個人懇談会、新入生歓迎会、卒業生を送る会など)実施日には、45分日課(午前5時間日課)を実施します。